令和8年11月2日

各　位

会社名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　水嶋　浩雅
問合せ先　ビジネスサポート本部　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

上場ＥＴＦ(管理会社：シンプレクス・アセット・マネジメント)に関する日々の開示事項

シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社を管理会社として上場するETF銘柄について、以下のとおり令和８年１０月３０日の状況をご報告します。

上場ETF銘柄(28銘柄)

掲載番号	銘柄名	銘柄コード	上場取引所
1	WTI原油価格連動型上場投信	1671	東証
2	Simplex NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信	1679	東証
3	東証スタンダードTOP20　ETF	1551	東証
4	東証グロース・コア　ETF	1563	東証
5	TOPIXブル2倍上場投信	1568	東証
6	TOPIXベア上場投信	1569	東証
7	中国H株ブル2倍上場投信	1572	東証
8	中国H株ベア上場投信	1573	東証
9	日経平均ブル2倍上場投信	1579	東証
10	日経平均ベア上場投信	1580	東証
11	TOPIXベア2倍上場投信	1356	東証
12	日経平均ベア2倍上場投信	1360	東証
13	JPX日経400ベア2倍上場投信(ダブルインバース)	1469	東証
14	東証グロース250ETF	2516	東証
15	東証REIT　ETF	2555	東証
16	PBR1倍割れ解消推進ETF	2080	東証
17	政策保有解消推進ETF	2081	東証
18	投資家経営者一心同体ETF	2082	東証
19	東証REITインバース　ETF	2094	東証
20	VIX短期先物指数ETF	318A	東証
21	東証REIT　Core　ETF	360A	東証
22	業界改革厳選ETFテレビ業界	394A	東証
23	業界改革厳選ETF地銀	395A	東証
24	業界改革厳選ETF　REITイベント・ドリブン	396A	東証
25	野村高利回りJリート指数ETF	459A	東証
26	東証REIT物流フォーカスETF	489A	東証
27	JPXスタートアップ急成長100ETF	526A	東証
28	金2倍ブルETF	606A	東証

＊各銘柄の状況につきましては、次ページ以降をご参照ください。なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の状況が表示されます。

以　上

［掲載番号:1］
各　位

令和8年11月2日

会社名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1671）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『ＷＴＩ原油価格連動型上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日：令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

2,656,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

18,328,123,970 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

6,900.65 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-0.08 %

$$乖離率 = \left(\frac{上場ETFの一口あたりの純資産額}{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額} - \frac{円換算した特定の指標の終値}{円換算した前営業日の特定の指標の終値} \right) \times 100(\%)$$

５．指標の特徴や留意点等

○原資産等の価格を利用する指標との差異
対象指標は、現物の原油価格ではなく、原油先物取引の価格を参照しています。原油先物取引の価格には、保管コスト（コスト・オブ・キャリー）等が反映されることにより、現物の原油価格を参照する場合と比べて投資成果が下回るおそれがあります。
○ロールオーバーに伴う損益について
対象指標を構成する原油先物取引において、通常、限月間に保管コスト等を反映した価格差があります。期近の先物価格よりも期先の先物価格が高くなっていく順鞘の状態（以下「コンタンゴ」といいます。）において、保管コスト等を反映した先物価格の時間的価値が減価する場合には、次限月以降の限月への乗換え（以下「ロールオーバー」といいます。）に伴って損失が発生する場合があります。一方、期近の先物価格よりも期先の先物価格が低くなっていく逆鞘の状態（「バックワーデーション」といいます。）においては、ロールオーバーに伴って収益が発生する場合があります。
○留意すべき投資スタイル（中長期的な投資）
コンタンゴの状態が多くなる場合等、ロールオーバーに伴う損失が累積すること等によって対象指標が減価するおそれがあるため、中長期的な投資を行う場合には留意が必要です。
○原油先物取引が限月の最終取引日近くとなり、銘柄入れ替えを行う際に負担する売買コストが、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になる可能性があります。
○信託報酬等のコスト負担が、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になります。

以　上

WTI原油価格連動型上場投信

開示基準日におけるWTI原油先物取引の買建玉

27年01月限	1,154 単位
27年02月限	60 単位

［掲載番号:2］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1679）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

34,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

2,240,388,094 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

65,893.77 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-0.01 ％

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

以　上

［掲載番号:3］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1551）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『東証スタンダードＴＯＰ２０　ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

103,636 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

705,535,733 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

6,807.82 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.00 ％

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５．設定および交換にかかる株式のポートフォリオ　　（別紙参照）

以　上

東証スタンダードTOP20 ETF

	株価指数終値	日次騰落率	一口あたりの純資産額	日次騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2026/08/14	1,676.53	0.08%	7,330	0.07%	0.00%	103,636	759,624,334
2026/08/17	1,681.22	0.28%	7,349	0.27%	−0.01%	103,636	761,650,934
2026/08/18	1,679.47	−0.10%	7,341	−0.11%	0.00%	103,636	760,829,319
2026/08/19	1,638.12	−2.46%	7,162	−2.45%	0.01%	103,636	742,191,358
2026/08/20	1,667.29	1.78%	7,288	1.77%	−0.01%	103,636	755,340,173
2026/08/21	1,650.39	−1.01%	7,215	−1.01%	0.01%	103,636	747,735,641
2026/08/24	1,670.99	1.25%	7,304	1.24%	−0.01%	103,636	756,985,374
2026/08/25	1,697.93	1.61%	7,421	1.60%	−0.01%	103,636	769,112,273
2026/08/26	1,702.59	0.27%	7,441	0.27%	0.00%	103,636	771,199,251
2026/08/27	1,716.48	0.82%	7,502	0.81%	−0.01%	103,636	777,425,091
2026/08/28	1,725.41	0.52%	7,542	0.54%	0.02%	103,636	781,642,767
2026/08/31	1,724.73	−0.04%	7,539	−0.05%	−0.01%	103,636	781,269,558
2026/09/01	1,715.91	−0.51%	7,500	−0.51%	0.00%	103,636	777,293,756
2026/09/02	1,682.54	−1.94%	7,355	−1.94%	0.00%	103,636	762,211,721
2026/09/03	1,672.51	−0.60%	7,311	−0.59%	0.00%	103,636	757,687,669
2026/09/04	1,699.34	1.60%	7,428	1.59%	−0.01%	103,636	769,762,642
2026/09/07	1,715.24	0.94%	7,496	0.92%	−0.01%	103,636	776,877,103
2026/09/08	1,683.64	−1.84%	7,359	−1.83%	0.01%	103,636	762,647,049
2026/09/09	1,689.61	0.35%	7,385	0.35%	−0.01%	103,636	765,310,463
2026/09/10	1,679.26	−0.61%	7,339	−0.61%	0.00%	103,636	760,632,461
2026/09/11	1,664.32	−0.89%	7,274	−0.89%	0.00%	103,636	753,882,472
2026/09/14	1,686.56	1.34%	7,371	1.32%	−0.01%	103,636	763,854,385
2026/09/15	1,692.23	0.34%	7,395	0.33%	0.00%	103,636	766,389,995
2026/09/16	1,697.92	0.34%	7,419	0.33%	−0.01%	103,636	768,926,740
2026/09/17	1,713.75	0.93%	7,488	0.93%	0.00%	103,636	776,066,192
2026/09/18	1,708.57	−0.30%	7,466	−0.30%	0.00%	103,636	773,709,726
2026/09/24	1,724.74	0.95%	7,535	0.93%	−0.02%	103,636	780,887,563
2026/09/25	1,737.38	0.73%	7,590	0.73%	0.00%	103,636	786,584,136
2026/09/28	1,715.23	−1.27%	7,493	−1.28%	0.00%	103,636	776,523,107
2026/09/29	1,698.82	−0.96%	7,461	−0.42%	0.54%	103,636	773,251,094
2026/09/30	1,703.34	0.27%	7,481	0.26%	0.00%	103,636	775,271,016
2026/10/01	1,721.38	1.06%	7,559	1.05%	−0.01%	103,636	783,435,028
2026/10/02	1,707.26	−0.82%	7,498	−0.82%	0.00%	103,636	777,039,153
2026/10/05	1,724.38	1.00%	7,572	0.99%	−0.01%	103,636	784,740,602
2026/10/06	1,722.44	−0.11%	7,563	−0.11%	0.00%	103,636	783,843,163
2026/10/07	1,724.07	0.09%	7,570	0.09%	0.00%	103,636	784,552,062
2026/10/08	1,654.44	−4.04%	7,265	−4.03%	0.01%	103,636	752,930,877
2026/10/09	1,654.51	0.00%	7,265	0.00%	0.00%	103,636	752,945,901
2026/10/13	1,628.01	−1.60%	7,148	−1.61%	−0.01%	103,636	740,815,827
2026/10/14	1,599.33	−1.76%	7,023	−1.76%	0.01%	103,636	727,803,310
2026/10/15	1,555.10	−2.77%	6,829	−2.77%	0.00%	103,636	707,679,396
2026/10/16	1,586.28	2.01%	6,965	1.99%	−0.01%	103,636	721,784,475
2026/10/19	1,584.25	−0.13%	6,955	−0.14%	−0.01%	103,636	720,798,114
2026/10/20	1,554.46	−1.88%	6,824	−1.88%	0.00%	103,636	707,248,597
2026/10/21	1,563.43	0.58%	6,864	0.57%	0.00%	103,636	711,311,077
2026/10/22	1,543.16	−1.30%	6,774	−1.30%	0.00%	103,636	702,070,356
2026/10/23	1,534.29	−0.57%	6,735	−0.58%	0.00%	103,636	698,011,713
2026/10/26	1,546.75	0.81%	6,789	0.80%	−0.02%	103,636	703,565,433
2026/10/27	1,561.27	0.94%	6,852	0.94%	0.00%	103,636	710,156,263
2026/10/28	1,565.41	0.27%	6,870	0.26%	0.00%	103,636	712,029,082
2026/10/29	1,542.99	−1.43%	6,772	−1.44%	−0.01%	103,636	701,774,395
2026/10/30	1,551.30	0.54%	6,808	0.54%	0.00%	103,636	705,535,733

東証スタンダードTOP20　ETF（交換に係わる交換口数）

令和8年11月4日は交換不可日のため、受け付けておりません

東証スタンダードTOP20　ETF（設定ポートフォリオ）

令和8年11月4日は設定不可日のため、受け付けておりません

［掲載番号:4］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1563）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『東証グロース・コア　ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

835,891 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

1,906,199,248 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

2,280.44 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.01 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５．設定および交換にかかる株式のポートフォリオ　　（別紙参照）

以　上

東証グロース・コア ETF

日付	株価指数終値	日次騰落率	一口あたりの純資産額	日次騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2026/08/14	905.84	2.48%	2,439	2.48%	-0.01%	962,008	2,346,113,789
2026/08/17	903.69	-0.24%	2,433	-0.24%	0.00%	962,008	2,340,508,804
2026/08/18	901.53	-0.24%	2,427	-0.24%	0.00%	962,008	2,334,930,399
2026/08/19	898.00	-0.39%	2,418	-0.39%	0.00%	962,008	2,325,813,641
2026/08/20	937.74	4.43%	2,524	4.41%	-0.01%	962,008	2,428,474,633
2026/08/21	916.99	-2.21%	2,469	-2.21%	0.00%	962,008	2,374,837,472
2026/08/24	911.86	-0.56%	2,455	-0.56%	0.00%	962,008	2,361,578,509
2026/08/25	923.50	1.28%	2,486	1.27%	0.00%	962,008	2,391,636,464
2026/08/26	938.13	1.58%	2,525	1.58%	0.00%	962,008	2,429,416,175
2026/08/27	953.27	1.61%	2,566	1.61%	0.00%	962,008	2,468,537,654
2026/08/28	975.74	2.36%	2,626	2.35%	-0.01%	962,008	2,526,581,653
2026/08/31	951.05	-2.53%	2,560	-2.53%	0.00%	962,008	2,462,751,408
2026/09/01	939.13	-1.25%	2,528	-1.25%	0.00%	962,008	2,431,958,619
2026/09/02	908.11	-3.30%	2,445	-3.29%	0.01%	760,295	1,858,721,881
2026/09/03	903.41	-0.52%	2,432	-0.52%	0.00%	760,295	1,849,144,415
2026/09/04	931.34	3.09%	2,507	3.08%	-0.01%	760,295	1,906,098,904
2026/09/07	928.45	-0.31%	2,499	-0.31%	0.00%	760,295	1,900,227,035
2026/09/08	919.87	-0.92%	2,476	-0.93%	0.00%	760,295	1,882,651,786
2026/09/09	917.02	-0.31%	2,469	-0.31%	0.00%	760,295	1,876,788,653
2026/09/10	909.09	-0.86%	2,447	-0.86%	0.01%	760,295	1,860,692,848
2026/09/11	887.26	-2.40%	2,389	-2.39%	0.01%	760,295	1,816,138,634
2026/09/14	905.17	2.02%	2,437	2.01%	-0.01%	760,295	1,852,628,778
2026/09/15	897.53	-0.84%	2,416	-0.84%	0.00%	760,295	1,837,035,395
2026/09/16	881.37	-1.80%	2,373	-1.79%	0.01%	760,295	1,804,143,720
2026/09/17	904.03	2.57%	2,434	2.57%	0.00%	760,295	1,850,476,207
2026/09/18	931.84	3.08%	2,509	3.07%	-0.01%	760,295	1,907,255,092
2026/09/24	932.64	0.09%	2,511	0.09%	0.00%	760,295	1,908,962,157
2026/09/25	911.59	-2.26%	2,454	-2.25%	0.01%	760,295	1,866,080,846
2026/09/28	901.61	-1.09%	2,428	-1.10%	0.00%	835,891	2,029,137,272
2026/09/29	896.66	-0.55%	2,415	-0.51%	0.04%	835,891	2,018,766,363
2026/09/30	910.97	1.60%	2,453	1.59%	-0.01%	835,891	2,050,810,037
2026/10/01	915.01	0.44%	2,464	0.44%	0.00%	835,891	2,059,823,713
2026/10/02	900.21	-1.62%	2,425	-1.61%	0.01%	835,891	2,026,639,472
2026/10/05	918.02	1.98%	2,472	1.97%	-0.01%	835,891	2,066,559,416
2026/10/06	935.72	1.93%	2,520	1.92%	-0.01%	835,891	2,106,265,923
2026/10/07	924.89	-1.16%	2,491	-1.16%	0.00%	835,891	2,081,920,430
2026/10/08	885.80	-4.23%	2,386	-4.22%	0.01%	835,891	1,994,139,255
2026/10/09	903.13	1.96%	2,432	1.95%	0.00%	835,891	2,033,063,229
2026/10/13	889.26	-1.54%	2,395	-1.53%	0.00%	835,891	2,001,915,077
2026/10/14	873.29	-1.80%	2,352	-1.79%	0.01%	835,891	1,966,075,277
2026/10/15	849.94	-2.67%	2,289	-2.66%	0.01%	835,891	1,913,733,989
2026/10/16	877.47	3.24%	2,363	3.23%	-0.01%	835,891	1,975,534,320
2026/10/19	862.16	-1.74%	2,322	-1.74%	0.00%	835,891	1,941,106,828
2026/10/20	843.83	-2.13%	2,273	-2.12%	0.01%	835,891	1,899,977,792
2026/10/21	859.72	1.88%	2,316	1.88%	0.00%	835,891	1,935,683,592
2026/10/22	839.68	-2.33%	2,262	-2.32%	0.01%	835,891	1,890,688,389
2026/10/23	841.57	0.23%	2,267	0.23%	0.00%	835,891	1,894,956,525
2026/10/26	847.11	0.66%	2,282	0.66%	0.00%	835,891	1,907,407,854
2026/10/27	864.82	2.09%	2,329	2.08%	-0.01%	835,891	1,947,118,154
2026/10/28	882.91	2.09%	2,378	2.09%	0.00%	835,891	1,987,776,921
2026/10/29	867.26	-1.77%	2,336	-1.79%	-0.01%	835,891	1,952,266,410
2026/10/30	846.72	-2.37%	2,280	-2.36%	0.01%	835,891	1,906,199,248

東証グロース・コア　ETF（交換に係わる交換口数）

令和8年11月4日は交換不可日のため、受け付けておりません

東証グロース・コア　ETF（設定ポートフォリオ）

令和8年11月4日は設定不可日のため、受け付けておりません

［掲載番号:5］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1568）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『ＴＯＰＩＸブル２倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

27,840,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

26,151,842,275 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

939.36 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-1.82 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数（対象指標）は、下記の計算式を用いて原指標であるＴＯＰＩＸ（配当なし）の前日比変動率（%）*に対して２倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。
＊ 前日比変動率（%）は、小数第３位四捨五入

当日の指数値＝前日の指数値×（１＋２倍×ＴＯＰＩＸ（配当なし）の前日比変動率）

※ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数については、以下のＨＰをご覧ください。
https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点
・ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数は、変動率がＴＯＰＩＸ（配当なし）（以下、「ＴＯＰＩＸ」といいます。）の日々の変動率の２倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はＴＯＰＩＸの２倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、ＴＯＰＩＸの変動率の２倍以上又は未満となる場合があります。
・ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数は、ＴＯＰＩＸが上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、ＴＯＰＩＸより大きく下落する傾向があります。また、ＴＯＰＩＸが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以　上

TOPIXブル2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の買建玉

26年12月限	1,322 単位

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

［掲載番号:6］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1569）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『ＴＯＰＩＸベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

2,946,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

2,225,688,264 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

755.49 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.96 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数（対象指標）は、下記の計算式を用いて原指標であるＴＯＰＩＸ（配当なし）の前日比変動率（%）*に対して－１倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。
* 前日比変動率（%）は、小数第３位四捨五入

当日の指数値＝前日の指数値×（１－１倍×ＴＯＰＩＸ（配当なし）の前日比変動率）

※ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数については、以下のＨＰをご覧ください。
https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点
・ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数は、変動率がＴＯＰＩＸ（配当なし）（以下、「ＴＯＰＩＸ」といいます。）の日々の変動率の－１倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はＴＯＰＩＸの－１倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、ＴＯＰＩＸの変動率の－１倍以上又は未満となる場合があります。
・ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、ＴＯＰＩＸの動きと逆に下落していく傾向があります。また、ＴＯＰＩＸが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以　上

TOPIXベア上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉	
26年12月限	56 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

［掲載番号:7］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1572）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『中国H株ブル２倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

255,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

1,520,739,245 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

5,963.68 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.95 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\ (\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数の前日比変動率を２倍した指数です。ハンセン中国企業株指数の２倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されます。
※ハンセン中国企業株レバレッジ指数については、以下のＨＰをご覧ください。

https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点
注：ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数（以下、「原指数」といいます。）の２倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されるため、正確に２倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「２倍」としていることにご注意ください。
・ ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、変動率が原指数の日々の変動率の２倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の２倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の２倍以上又は未満となる場合があります。
・ ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、原指数が上昇トレンドにある場合において、収益をさらに強く求める指標であるため、原指数の上昇を見込む場合には有用です。また、下落局面においては、原指数より大きく下落する傾向があります。
・ レバレッジ型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。
・ 原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指標と比較して指数のパフォーマンスが逓減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。
・ 円換算した原指標の動きと、円換算したレバレッジ型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

以　上

中国H株ブル2倍上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Future取引の買建玉
（開示基準日における取引を含む。）

26年11月限　　393 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金（解約）請求	0 口	0 口

A： 開示基準日の前営業日
B： 開示基準日

［掲載番号:8］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1573）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『中国H株ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

102,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

904,902,953 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

8,871.60 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-0.49 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\ (\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率をインバース（－１倍）した指数です。ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率の－1倍のリターンを示します。ハンセン中国企業株指数（配当込）の－1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映します。
※ハンセン中国企業株ショート指数については、以下のＨＰをご覧ください。
https://www.simplexasset.com/etf/etf.html
対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点
注：ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）（以下、「原指数」といいます。）の－1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映されるため、正確に－１倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「－１倍」としていることにご注意ください。
・ ハンセン中国企業株ショート指数は、変動率が原指数の日々の変動率の－１倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の－１倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の－１倍以上又は未満となる場合があります。
・ ハンセン中国企業株ショート指数は、原指数が下落トレンドにある場合において上昇する指標であるため、ハンセン中国企業株指数原指数の下落を見込む場合には有用です。また、上昇局面においては、原指数の動きと逆に下落していく傾向があります。
・ インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。
・ 原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指数と比較して指数のパフォーマンスが逓減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。
・ 円換算した原指標の動きと、円換算したインバース型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

以　上

中国H株ベア上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Futureの売建玉
（開示基準日における取引を含む。）

26年11月限　　113 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金（解約）請求	0 口	0 口

A： 開示基準日の前営業日
B： 開示基準日

［掲載番号:9］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1579）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『日経平均ブル２倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

105,440,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

72,287,510,042 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

685.58 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.41 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\ (\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

日経平均レバレッジ・インデックス（対象指標）は、日経平均株価（以下、「日経平均」といいます。）の2 倍の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均レバレッジ・インデックスについては、以下のＨＰをご覧ください。

https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点
・日経平均レバレッジ・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の２倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の２倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の２倍以上又は未満となる場合があります。
・日経平均レバレッジ・インデックスは、日経平均が上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、日経平均より大きく下落する傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均レバレッジ・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以　上

日経平均ブル2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の買建玉

26年12月限	2,234 単位

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	1,840,000 口

［掲載番号:10］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1580）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『日経平均ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

6,582,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

5,319,305,956 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

808.16 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-0.19 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\ (\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

日経平均インバース・インデックス（対象指標）は、日経平均株価（以下、「日経平均」といいます。）の逆の変動率（－１倍の変動率）で指数が動くよう設計されています。

※日経平均インバース・インデックスについては、以下のＨＰをご覧ください。

https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点
・日経平均インバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の逆（－１倍）となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の－１倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の－１倍以上又は未満となる場合があります。
・日経平均インバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均インバース・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以　上

日経平均ベア上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉 26年12月限	84 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

［掲載番号:11］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1356）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『ＴＯＰＩＸベア２倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

20,200,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

2,227,395,882 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

110.27 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

1.91 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数（対象指標）は、下記の計算式を用いて原指標であるＴＯＰＩＸ（配当なし）の前日比変動率（%）*に対して－２倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。
* 前日比変動率（%）は、小数第３位四捨五入

当日の指数値＝前日の指数値×（１－２倍×ＴＯＰＩＸ（配当なし）の前日比変動率）

※ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数については、以下のＨＰをご覧ください。
https://www.simplexasset.com/etf/etf.html
対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点
・ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数は、変動率がＴＯＰＩＸ（配当なし）（以下、「ＴＯＰＩＸ」といいます。）の日々の変動率の－２倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はＴＯＰＩＸの－２倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、ＴＯＰＩＸの変動率の－２倍以上又は未満となる場合があります。
・ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、ＴＯＰＩＸの動きと逆に下落していく傾向があります。また、ＴＯＰＩＸが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以　上

TOPIXベア2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉	
26年12月限	113 単位

開示基準日における追加申込	150,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

［掲載番号:12］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1360）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『日経平均ベア２倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

370,530,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

26,159,445,814 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

70.60 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-0.40 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\ (\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

日経平均ダブルインバース・インデックス（対象指標）は、日経平均株価（以下、「日経平均」といいます。）とは２倍の逆（マイナス２倍）の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均ダブルインバース・インデックスについては、以下のＨＰをご覧ください。

https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点
・日経平均ダブルインバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の２倍の逆（－２倍）となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の－２倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の－２倍以上又は未満となる場合があります。
・日経平均タブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均ダブルインバース・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以　上

日経平均ベア2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉	
26年12月限	861 単位

開示基準日における追加申込	15,400,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

［掲載番号:13］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：1469）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『JPX日経400ベア２倍上場投信（ダブルインバース）』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

919,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

176,291,218 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

191.83 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

1.78 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400ダブルインバース・インデックス（対象指数）は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400（配当なし）（以下、「JPX日経400」といいます。）の前日比変動率（%）*に対して－２倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。
＊ 前日比変動率（%）は、小数第３位四捨五入

当日の指数値＝前日の指数値×（１－２倍×JPX日経400の前日比変動率）

※JPX日経400ダブルインバース・インデックスについては、以下のＨＰをご覧ください。

https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点
・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の２倍の逆（－２倍）となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の－２倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の－２倍以上又は未満となる場合があります。
・JPX日経400ダブルインバース・インデックススは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、JPX日経400の動きと逆に下落していく傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400ダブルインバース・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以　上

JPX日経400ベア2倍上場投信（ダブルインバース）

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の売建玉 26年12月限	98 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金（解約）請求	0 口

［掲載番号:14］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：2516）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『東証グロース250ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

13,730,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

8,554,820,329 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

623.08 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.02 ％

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\ (\%)$$

以　上

東証グロース250ETF

開示基準日における東証グロース250指数先物取引の買建玉

26年12月限	3,163 単位

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

［掲載番号:15］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：2555）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『東証REIT　ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

36,233,984 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

61,616,170,894 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

1,700.51 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.00 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５．設定および交換にかかる株式のポートフォリオ　　（別紙参照）

以　上

東証　REIT　ETF（交換に係わる交換口数）

※交換申込日（令和8年11月4日）、交換受付日（令和8年11月4日）分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数:　　概算　150,000　口

東証　REIT ETF（設定ポートフォリオ）

※設定申込日（令和8年11月4日）、設定受付日（令和8年11月4日）分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	口数
1	29710	エスコンジャパンリート投資法人	6
2	29720	サンケイリアルエステート投資法	8
3	29790	SOSiLA物流リート投資法人	13
4	29890	東海道リート投資法人	6
5	32260	三井不動産アコモデーションフ	45
6	32340	森ヒルズリート投資法人	30
7	32490	産業ファンド投資法人	47
8	32690	アドバンス・レジデンスREIT	53
9	32790	アクティビア・プロパティーズ投	40
10	32810	GLP投資法人	89
11	32820	コンフォリア・レジデンシャル投	41
12	32830	日本プロロジス　REIT	134
13	32870	星野リゾート・リート投資法人	10
14	32900	Oneリート投資法人	16
15	32920	イオンリート投資法人	31
16	32950	ヒューリックリート投資法人	23
17	32960	日本リート投資法人	32
18	33090	積水ハウス・リート投資法人	77
19	34510	トーセイ・リート投資法人	6
20	34550	ヘルスケア＆メディカル投資法人	8
21	34590	サムティ・レジデンシャル投資法	7
22	34620	野村不動産マスターファンド投資	83
23	34630	いちごホテルリート投資法人	4
24	34660	ラサールロジポート投資法人	31
25	34680	スターアジア不動産投資法人	48
26	34700	マリモ地方創生リート投資法人	5
27	34710	三井不動産ロジスティクスパーク	57
28	34720	日本ホテル＆レジデンシャル投資	8
29	34760	投資法人みらい	36
30	34810	三菱地所物流リート投資法人	26
31	34870	CREロジスティクスファンド投	10
32	34880	セントラル・リート投資法人	4
33	34920	MIRARTH不動産投資法人	19
34	401A0	霞ヶ関ホテルリ―ト投資法人	3
35	89510	日本ビルファンド　JREIT	157
36	89520	ジャパンリアルエステイト	136
37	89530	日本都市ファンド投資法人	135
38	89540	オリックス不動産投資法人	103
39	89550	日本プライムリアルティ投資法人	72
40	89560	NTT都市開発リート投資法人	26
41	89570	東急リアル・エステート	15

42	89580	グローバル・ワン不動産投資法人	20
43	89600	ユナイテッド・アーバン投資法人	57
44	89610	森トラストリート	50
45	89630	インヴィンシブル投資法人	136
46	89640	三井不動産商業ファンド	48
47	89660	平和不動産リート投資法人	21
48	89670	日本ロジスティクス　JREIT	51
49	89680	福岡REIT	15
50	89720	KDX不動産投資法人	76
51	89750	いちごオフィスリート投資法人	18
52	89760	大和証券オフィス投資法人	10
53	89770	阪急阪神リート投資法人	11
54	89790	スターツプロシード投資法人	4
55	89840	大和ハウスリート投資法人	81
56	89850	ジャパン・ホテル・リート投資法	111
57	89860	大和証券リビング投資法人	38
58	89870	ジャパンエクセレント投資法人	22

［掲載番号:16］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：2080）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『 PBR1倍割れ解消推進ETF 』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

6,039,500 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

11,945,319,085 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

1,977.87 円

以　上

［掲載番号:17］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：2081）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『 政策保有解消推進ETF 』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

270,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

559,948,114 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

2,073.88 円

以　上

［掲載番号:18］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：2082）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『 投資家経営者一心同体ETF 』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

200,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

254,765,463 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

1,273.83 円

以　上

［掲載番号:19］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：2094）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『東証REITインバースETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

270,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

226,520,031 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

838.96 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.01 ％

５.連動対象指標の特徴と留意点

東証REITインバース（-1倍）指数は、原指標である東証REIT 指数（配当なし）（以下、「東証REIT指数」といいます。）の前日比変動率に対して一定の負の倍数、すなわち－１倍、を乗じた変動率となるように計算された指数です。

東証REITインバース（-1倍）指数については、以下のＨＰをご覧ください。

https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるインバース型指標の主な特性及び留意点
・東証REITインバース（-1倍）指数は、変動率が東証REIT指数の日々の変動率の逆（－１倍）となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は東証REIT指数の－１倍となりますが、２営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、東証REIT指数の変動率の－１倍以上又は未満となる場合があります。
・特に、東証REIT指数が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により東証REITインバース（-1倍）指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。

以　上

東証REITインバースETF

開示基準日における東証REIT指数先物取引の売建玉

26年12月限	137 単位

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

［掲載番号:20］
各　位

令和8年11月2日

会社名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　水嶋　浩雅
（銘柄コード：318A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『ＶＩＸ短期先物指数ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

12,110,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

4,121,011,907 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

340.30 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-0.02 %

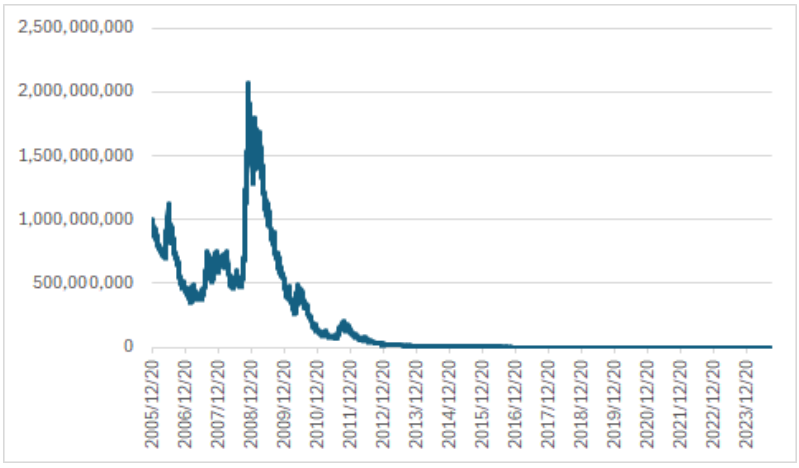
$$乖離率 = \left(\frac{上場ETFの一口あたりの純資産額}{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額} - \frac{円換算した特定の指標の終値}{円換算した前営業日の特定の指標の終値} \right) \times 100(\%)$$

５．指標の特徴や留意点等

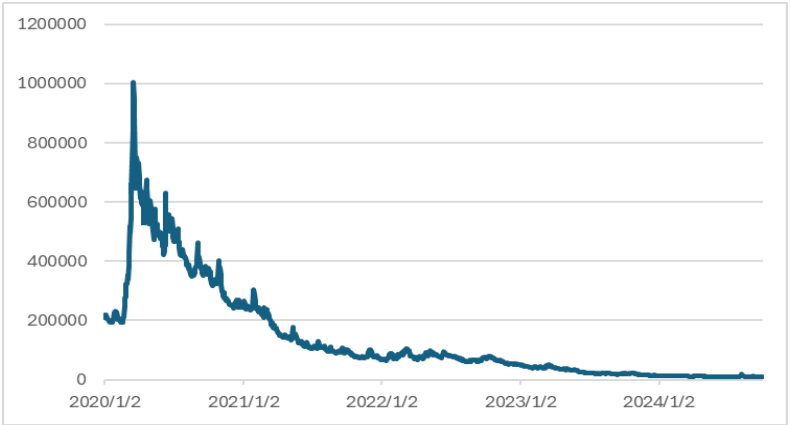
以下は【投資リスク】の抜粋であり、詳しくは交付目論見書をご覧ください。
①　VIX先物取引の利用に伴うリスク
VIX先物取引の価格は、原資産であるVIX指数の値動き、先物市場の需給等を反映して変動します。先物を買い建てている場合において、先物価格が上昇すれば収益が発生し、下落すれば損失が発生します。ファンドで行なっているVIX先物取引について損失が発生した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
VIX指数は、30日間にどれだけ変動すると市場が考えているかを瞬時に測定することを目的とした指数であり、VIX指数の変動はS&P500指数などの株価指数に比べて大きくなる場合があることが観測されています。そのため、米国株式市場の変動率に比べて大きな損失が生じる可能性があります。
②　価格変動リスク
当ファンドは、S&P 500 VIX短期先物指数超過リターンを対象指標とし、対象指標の構成要素はVIX先物取引であり、VIX先物取引の原資産はVIX指数です。VIX指数は、S&P500指数オプション取引のビッド/アスク相場の仲値を用いて算出されており、米国の株価指数であるS&P500指数の変動の影響を受けます。VIX先物取引の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。VIX指数、VIX先物取引の価格が下落した場合は基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むことがあります。なお、一般的に、VIX指数、VIX先物取引および対象指標の値動きは株式市場の値動きとは異なり、また、その変動幅は大きい場合があり、当ファンドの基準価額が米国株式市場の変動に比べて大きくなり、基準価額が大きく下落する場合がありますので、十分ご留意ください。

③　対象指標について
a.　対象指標は、満期日が隣接する2つのVIX先物取引、CBOE先物取引所に上場、のロング・ポジションをロールする取引のリターンを測定します。各指数では、期間のより短い先物取引から期間のより長い先物取引に各月を通して毎日ロング・ポジションをロールします。
b. VIX先物取引の原資産であるVIX指数は、S&P500指数がVIX指数の各ティックが表示された時点から30日間にどれだけ変動すると市場が考えているかを瞬時に測定することを目的としています。しかし、VIX指数の値と将来の変動とは同じになるわけはなく、あくまで測定時点においてどれだけ変動すると市場が考えているかであり、将来の変動とは異なります。
c. 対象指標は長期にわたり右肩下がり傾向を示してきました。（S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）のデータをもとに当社作成。）

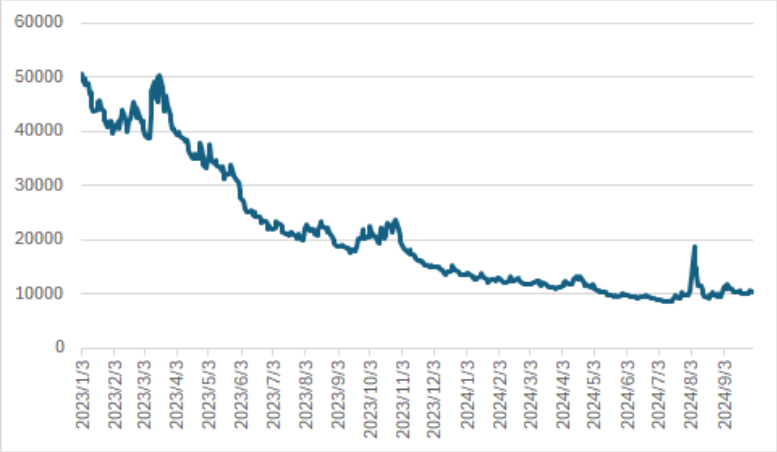
2005年12月20日から2024年9月30日までの対象指標の推移



2020年1月2日から2024年9月30日までの対象指標の推移



2023年1月3日から2024年9月30日までの対象指標の推移



対象指標が右肩下がりを示してきた説明は以下のとおりです。（S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）より。）
対象指標は基本的に、第1限月のVIX先物取引を第2限月の先物取引に日次でロールするポジションを複製し、VIX先物取引の1カ月ロング・エクスポージャーを一定にします。つまり、VIXカーブが上向きで、他のすべてが変わらない場合、このロールする過程は損失となります。
　VIXカーブとは、VIX先物取引の価格が、第1限月の価格より第2限月の価格の方が高くなる傾向を見せること、です。
免責事項：これは概念を説明するためのものであり、参照指標の正確な計算方法に従っているわけではありません。
まず、1ヵ月を30日と仮定します。
1日目：　第1限月先物取引を100%ロング
2日目：(29/30)×第1限月先物取引＋(1/30)×第２限月先物取引
第1限月先物取引の（1/30）部分を売り、第2限月先物取引を買うことになります。VIXカーブが上方傾斜しているため、初日に購入した価格よりも低い価格で売ることになり、実現損失が発生します。(29/30)×第1限月先物ポジションの時価評価額はマイナスとなります。
3日目：　(28/30)×第1限月先物取引＋(2/30)×第2限月先物取引
・・・
29日目：(1/30)×第1限月先物取引＋(29/30)×第2限月先物取引
30日目：100%×第2限月先物取引（この時点で第2限月先物取引は期近である第1限月先物取引になる）

参照指標は、ロールする過程は損失となる傾向があり、長期的には大きな損失となります。しかし、VIX指数が急騰し、VIXカーブの傾向が反転することが多いときには、短期的に利益をあげます。したがって、参照指標は戦術的に使用するのが最善と思われ、主要な市場のボラティリティが高まるようなイベントや市場の変動に対応して、長期よりは比較的短期に保有されるような戦略です。

④　対象指標とファンドの基準価額のかい離
当ファンドは、デリバティブ取引を利用することにより、基準価額の変動率を対象指標の変動率に一致させることを目標として運用されますが、以下のような要因により、必ずしも対象指標と完全に一致した運用成果とはならないことに留意が必要です。
a. VIX先物取引などのデリバティブ取引を利用しますが、当該取引の値動きと対象指標との値動きが一致しないことにより、対象指標の変動率とファンドの基準価額の変動率にかい離が生じることがあります。
b. 対象指標の特性により、VIX先物取引の実質買い建て総額が信託財産の純資産総額とほぼ同額となりますが、必ずしも正確に同額ではなく、純資産総額を上回ること、または下回ることもあります。それにより、対象指標の変動率とファンドの基準価額の変動率にかい離が生じることがあります。
c. 資金の流入から実際にVIX先物取引を買い建てるためのタイミングのずれの発生により、対象指標の変動率と基準価額の変動率にかい離が生ずる可能性があります。
d. VIX先物取引には取引証拠金がかかります。その取引証拠金は一般的な株価指数先物取引の取引証拠金に比べて大きな金額です。VIX指数が大きく変動することによりVIX先物取引の取引証拠金がさらに大きくなり、取引証拠金の制約により、VIX先物取引の買い建てを手仕舞いしなければならない事態が発生する可能性があります。その場合、対象指標の変動率とファンドの基準価額の変動率にかい離が生じます。
e. 信託報酬等のコスト負担が基準価額の変動率とのかい離の要因になります。

以　上

VIX短期先物指数ETF

開示基準日におけるVIX先物取引の買建玉

26年11月限	974 単位
26年12月限	525 単位

［掲載番号:21］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：360A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『東証REIT　Core　ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

1,550,298 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

1,529,025,949 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

986.28 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.00 ％

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５．設定および交換にかかる株式のポートフォリオ　　（別紙参照）

以　上

東証REIT　Core　ETF（交換に係わる交換口数）

※交換申込日（令和8年11月4日）、交換受付日（令和8年11月4日）分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数:　　概算　80,000　口

東証REIT　Core　ETF（設定ポートフォリオ）

※設定申込日（令和8年11月4日）、設定受付日（令和8年11月4日）分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	口数
1	3226	三井不動産アコモデーションフ	23
2	3234	森ヒルズリート投資法人	22
3	3249	産業ファンド投資法人	20
4	3269	アドバンス・レジデンスREIT	19
5	3279	アクティビア・プロパティーズ投	22
6	3281	GLP投資法人	21
7	3282	コンフォリア・レジデンシャル投	27
8	3283	日本プロロジス　REIT	34
9	3292	イオンリート投資法人	23
10	3295	ヒューリックリート投資法人	18
11	3309	積水ハウス・リート投資法人	35
12	3462	野村不動産マスターファンド投資	19
13	3466	ラサールロジポート投資法人	20
14	3471	三井不動産ロジスティクスパーク	27
15	8951	日本ビルファンド　JREIT	22
16	8952	ジャパンリアルエステイト	25
17	8953	日本都市ファンド投資法人	25
18	8954	オリックス不動産投資法人	30
19	8955	日本プライムリアルティ投資法人	30
20	8956	NTT都市開発リート投資法人	22
21	8960	ユナイテッド・アーバン投資法人	18
22	8961	森トラストリート	39
23	8963	インヴィンシブル投資法人	47
24	8964	三井不動産商業ファンド	35
25	8967	日本ロジスティクス　JREIT	31
26	8972	KDX不動産投資法人	18
27	8976	大和証券オフィス投資法人	9
28	8984	大和ハウスリート投資法人	24
29	8985	ジャパン・ホテル・リート投資法	37
30	8987	ジャパンエクセレント投資法人	20

［掲載番号:22］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：394A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『 業界改革厳選ＥＴＦテレビ業界 』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

240,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

129,027,823 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

537.62 円

以　上

［掲載番号:23］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：395A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『 業界改革厳選ＥＴＦ地銀 』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

11,295,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

11,088,375,662 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

981.71 円

以　上

［掲載番号:24］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：396A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『 業界改革厳選ＥＴＦ　ＲＥＩＴイベント・ドリブン 』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

220,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

97,385,158 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

442.66 円

以　上

［掲載番号:25］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：459A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『野村高利回りＪリート指数ＥＴＦ』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

30,600 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

287,707,976 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

9,402.22 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.00 ％

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５．設定および交換にかかる株式のポートフォリオ　　（別紙参照）

以　上

野村高利回りJリート指数ETF（交換に係わる交換口数）

※交換申込日（令和8年11月4日）、交換受付日（令和8年11月4日）分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数:　　概算　10,600　口

野村高利回りJリート指数ETF（設定ポートフォリオ）

※設定申込日（令和8年11月4日）、設定受付日（令和8年11月4日）分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	口数
1	2979	SOSiLA物流リート投資法人	7
2	3234	森ヒルズリート投資法人	16
3	3249	産業ファンド投資法人	29
4	3279	アクティビア・プロパティーズ投	18
5	3281	GLP投資法人	37
6	3283	日本プロロジス　REIT	53
7	3287	星野リゾート・リート投資法人	8
8	3290	Oneリート投資法人	16
9	3292	イオンリート投資法人	23
10	3295	ヒューリックリート投資法人	15
11	3296	日本リート投資法人	22
12	3309	積水ハウス・リート投資法人	43
13	3451	トーセイ・リート投資法人	5
14	3459	サムティ・レジデンシャル投資法	13
15	3462	野村不動産マスターファンド投資	36
16	3468	スターアジア不動産投資法人	43
17	3471	三井不動産ロジスティクスパーク	26
18	3476	投資法人みらい	29
19	3481	三菱地所物流リート投資法人	11
20	3487	CREロジスティクスファンド投	7
21	3492	MIRARTH不動産投資法人	18
22	8953	日本都市ファンド投資法人	46
23	8954	オリックス不動産投資法人	48
24	8956	NTT都市開発リート投資法人	11
25	8958	グローバル・ワン不動産投資法人	15
26	8960	ユナイテッド・アーバン投資法人	33
27	8961	森トラストリート	30
28	8963	インヴィンシブル投資法人	89
29	8964	三井不動産商業ファンド	32
30	8966	平和不動産リート投資法人	20
31	8967	日本ロジスティクス　JREIT	20
32	8968	福岡REIT	6
33	8972	KDX不動産投資法人	35
34	8975	いちごオフィスリート投資法人	32
35	8977	阪急阪神リート投資法人	6
36	8979	スターツプロシード投資法人	3
37	8984	大和ハウスリート投資法人	40
38	8985	ジャパン・ホテル・リート投資法	67
39	8986	大和証券リビング投資法人	25

［掲載番号:26］
各　位

令和8年11月2日

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：489A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『東証ＲＥＩＴ物流フォーカスＥＴＦ』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

202,800 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

162,590,759 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

801.73 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-0.01 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５．設定および交換にかかる株式のポートフォリオ　　（別紙参照）

以　上

東証REIT物流フォーカスETF（交換に係わる交換口数）

※交換申込日（令和8年11月4日）、交換受付日（令和8年11月4日）分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数:　　概算　104,000　口

東証REIT物流フォーカスETF（設定ポートフォリオ）

※設定申込日（令和8年11月4日）、設定受付日（令和8年11月4日）分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	口数
1	2979	SOSiLA物流リート投資法人	17
2	3249	産業ファンド投資法人	62
3	3281	GLP投資法人	111
4	3283	日本プロロジス　REIT	174
5	3292	イオンリート投資法人	6
6	3462	野村不動産マスターファンド投資	15
7	3466	ラサールロジポート投資法人	42
8	3471	三井不動産ロジスティクスパーク	75
9	3481	三菱地所物流リート投資法人	34
10	3487	CREロジスティクスファンド投	14
11	8954	オリックス不動産投資法人	19
12	8960	ユナイテッド・アーバン投資法人	11
13	8967	日本ロジスティクス　JREIT	67
14	8972	KDX不動産投資法人	14
15	8984	大和ハウスリート投資法人	105

［掲載番号:27］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：526A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『ＪＰＸスタートアップ急成長１００ＥＴＦ』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

102,000 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

247,824,248 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

2,429.65 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

-0.01 ％

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\ (\%)$$

以　上

JPXスタートアップ急成長100ETF

開示基準日におけるJPXスタートアップ急成長100指数先物取引の買建玉

開示基準日における追加申込	9,000 口
開示基準日における換金（解約）請求	0 口

［掲載番号:28］

令和8年11月2日

各　位

会 社 名　シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
（管理会社コード：16714）
代表者名　代表取締役社長　　水嶋　浩雅
（銘柄コード：606A）
問合せ先　ビジネスサポート本部　　木村　幸恵
（TEL：03－6843-1413）

『金２倍ブルＥＴＦ』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和8年10月30日

１．上場ＥＴＦの上場受益権口数
（開示基準日現在）

66,500 口

２．上場ＥＴＦの純資産総額
（開示基準日現在）

1,156,995,581 円

３．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額
（開示基準日現在）

17,398.43 円

４．上場ＥＴＦの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
（開示基準日現在）

0.01 ％

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100\,(\%)$$

５.連動対象指標の特徴と留意点

日経・JPX金レバレッジ指数（対象指標）は、日経・JPX金指数（原指標）の前日比変動率（%）に対して一定の正の倍数、すなわち2倍、を乗じた変動率となるように計算された指数です。
対象指標および原指標については、以下のＨＰをご覧ください。
https://www.simplexasset.com/etf/etf.html

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴と留意点
・ 日経・JPX金レバレッジ指数は、変動率が日経・JPX金指数の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経・JPX金指数の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経・JPX金指数の変動率の2倍以上又は未満となる場合があります。
・ 特に、日経・JPX金指数が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経・JPX金レバレッジ指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。

※日経・JPX金指数（原指標）は大阪取引所に上場されている金の先物取引を構成銘柄とする指数です。指数値は、金標準先物の清算値段の価格騰落率を用いて算出されます。対象限月は中心限月（5番限月または6番限月）とし、限月の切り替え（ロールオーバー）は取引最終日の属する月の翌月において、月初第5取引日から第9取引日までの5取引日間にわたって5分の1ずつ段階的に行われます。金標準先物は、偶数限月の商品であるため、ロールオーバーは奇数月に行われます。

対象指標の原指標（商品先物価格を参照する指数）の主な特徴と留意点
・原指標は、前述のとおり金標準先物の清算値段に基づき算出されています。金標準先物の価格には商品現物の保管コストや金利等が反映されるため、金標準先物の値動きは国際的な金現物価格の値動きと必ずしも一致するとは限りません。従って、原指標および対象指標の値動きは金現物価格の値動きと差異がある場合があります。

以　上

金2倍ブルETF

開示基準日における金ミニ先物取引の買建玉	
27年08月限	8 単位
開示基準日における金標準先物取引の買建玉	
27年08月限	113 単位
開示基準日における追加申込	500 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口